

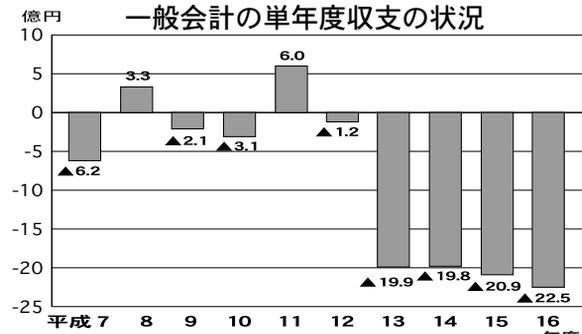
厳しい収支の状況

平成16年市議会第1回定例会において、16年度予算案が承認されました。しかしこれは、実質的な赤字予算となっております。今月からは、厳しい本市の財政状況について、整理してお知らせしていきます。

収支の状況

収入から、支出した額と翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた本市の一般会計の「実質収支」は昭和53年度以降、黒字で推移してまいりました。しかしこれは、財政調整基金などの貯金を取り崩したり、他の会計から借り入れたりなどとして、収入を確保した結果です。それらを除くと、本市の単年度の収支は左上のグラフのとおり、実際は赤字傾向にあり、厳しい収支の状況が続いています。特に平成13年度以降、急激に財政状況は悪化し、毎年度20億円あまりの財源が不足しています。

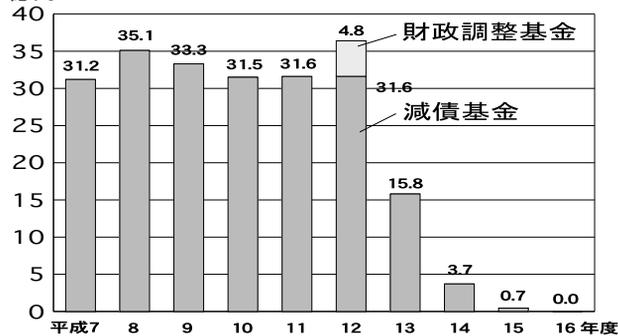
底をつく貯金



※平成14年度までは決算、15年度は2定予算、16年度は当初予算上の数値です。
※財政調整基金の取り崩しや、他の会計からの借り入れなどを考慮したものです。

13年度までは、財政調整基金や減債基金などの貯金を取り崩して不足する財源を確保してきましたが、14年度からこれらの基金が右下のグラフのとおり、底をつく状態となり、その他の基金や他の会計からの借り入れにより、何とかやり繰りをしてきました。しかし、16年度予算では、22億5000万円の歳入不足のうち、収入の見込みのない19億円を歳入に形式的に計上せざるを得ない状況となりました。

財政調整基金・減債基金の残高の推移



※各年度末の残高です (15年度以降は見込みです)。

財政状況が悪化している要因は、収入では、市税や地方交付税が減ったこと、支出では扶助費や公債費が増えたことなどがあげられます。次回以降は、市税の収入の状況などについてお知らせしていきます。

◆財政についてのお問い合わせは、財政課 ☎4111 内線 231〜234 へどうぞ。

平成15年度予算の執行状況

市では、予算や決算の内容やその執行状況を、年に4回、本誌で市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、平成16年3月31日現在の、予算の執行状況をお知らせします。

《一般・特別会計の執行状況》

一般会計	予算額	682億4191万円
	収入額	495億5300万円 (72.6%)
	支出額	595億1502万円 (87.2%)
特別会計	予算額	569億5530万円
	収入額	478億4654万円 (84.0%)
	支出額	510億7951万円 (89.7%)

※この表には、平成14年度からの繰り越し分を含みます。
() 内は予算額に対する収入率・執行率です。

なお、3月までに完了した工事の代金を支払ったり、事業の完了後に交付される補助金を受けたりするために、一般会計と特別会計には、現金の未収や未払いを整理する期間(4月と5月の2カ月間)を設けています。

このため、最終的な決算の収入・執行率は、今回を上回ることになります。

○市有財産の現在高…	1705億1396万円
(道路・橋りょう・企業会計分を除く)	
内訳	
土地…	799億0749万円
建物…	776億1651万円
その他…	129億8996万円
○市債の現在高…	1306億8256万円
○一時借入金の現在高…	188億3000万円

※企業会計は、出納整理期間がないため、3月31日現在の状況が決算となります。決算の状況は、一般会計・特別会計と合わせて、10月号でお知らせする予定です。